

トヨタとマツダは燃料電池車・低燃費技術などで提携

日経企業活動情報

活動内容	販売・技術・生産などの業務提携	
概要	トヨタ自動車とマツダは5月13日、環境・安全技術など幅広い分野で包括提携すると発表した。トヨタは燃料電池車（FCV）技術を、マツダがガソリンやディーゼルエンジンの高出力・低燃費技術を相互で供与する。互いに得意な技術やノウハウを持ち寄り、効果的な開発・改良を進める。具体的には環境分野でトヨタがプラグインハイブリッド車（PHV）、マツダがFCVといったエコカーの技術を供与することなどを想定している。マツダは独自の環境技術「スカイアクティブ」をトヨタに提供する方向で検討する。両社は共同で技術開発や改良を進め、自動ブレーキなど安全技術分野での負担軽減を狙う。	
企業名	トヨタ自動車(株)	
	本社	愛知県豊田市トヨタ町1
	上場	東証1部
	業種	自動車(乗用車・一般)
	株式コード	7203
	日経会社コード	01353
企業名	マツダ(株)	
	本社	広島県安芸郡府中町新地3-1
	上場	東証1部
	業種	自動車(乗用車・一般)
	株式コード	7261
	日経会社コード	01389
活動形態	IN-IN(日本企業による日本での活動)	
活動実施先	愛知県、広島県	
レポート日	2015/05/14	
発表日	2015/05/13	
実施日	2015/05/13	

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報(以下「情報」)の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。

本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。

本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。

Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All Rights Reserved.